

菊澤研宗さんが読み解く 【クリティカル「現代経営学」】



講師

慶應義塾大学名誉教授
城西大学特任教授

菊澤 研宗 Kikuzawa Kenshu

【ハイブリッド】丸の内キャンパス、オンライン(Zoom)いずれでも参加可能です。

経営学の最新トレンドの前提を疑い、本質を見極める

いつの時代でも、どんな分野でも、最新のトレンドが語られ、ブームが起こります。その中には理論・学説として定着するものと、バズワードとして消費されていくものがあります。現代の経営学やビジネス書、コンサルティングメソッドにおいても、この四半世紀の間にいくつかのトレンドがありました。その中には、今後も長く残る理論もあれば、曖昧な定義のまま広く世間で使われているものもあります。

本講座では、現代の企業経営に関わる最先端トレンドを取り上げ、その本質を正しく理解するとともに、果たして本当に通用するものなのかクリティカルに考えます。そして、これからの時代の企業・組織が目指すべき在り方について皆さんと共に議論したいと思います。

菊澤 研宗

5・11 | ±
14:00-17:00

ティール組織

参考図書『ティール組織-マネジメントの常識を覆す次世代型組織の出現』フレデリック・ラルー(英知出版 2018年)

ティール組織は、「上下関係も、売上目標も、予算もない-従来のマネジメントの常識を覆し、圧倒的な成果をあげるとされる組織モデル」として注目されています。それはどのような組織なのか、本当にマネジメントの常識を覆す次世代の組織となり得るのかについて、議論します。

6・22 | ±
14:00-17:00

イノベーションのジレンマ

参考図書『イノベーションのジレンマ 増補改訂版—技術革新が巨大企業を滅ぼすとき』クレイトン・クリステンセン、伊豆原弓(翻訳)(翔泳社2001年)

イノベーションのジレンマは、「巨大企業が新興企業の前に力を失う理由を説明した企業経営の理論」としてあまりにも有名です。イノベーションのジレンマは巨大企業を滅ぼすとされるが本当にそうなのか、その本質を議論します。

5・25 | ±
14:00-17:00

パーパス経営

参考図書『パーパス-「意義化」する経済とその先』岩崎博論、佐々木康裕(NewsPicksパブリッシング 2021年)

パーパス経営は、「企業の存在意義を意味するパーパス(Purpose)に基軸を置いた次世代の経営モデル」として知られています。パーパスは、理念や使命とどう違うのか、パーパス経営によって“利益を生み出すこと”と“社会をよくすること”は本当に両立可能なのかについて、議論します。

7・13 | ±
14:00-17:00

両利きの経営

参考図書『両利きの経営(増補改訂版)—二兎を追う戦略が未来を切り拓く』チャールズ・A・オライリー、マイケル・L・タッシュマン(東洋経済新報社2022年)

両利きの経営は、「ひとつの企業内で、(深化)を担う組織と、(探索)を担う組織という二種類の組織を持つことで、既存事業への悪影響を無くしつつ、イノベーションを起こすことが可能になる」として話題になりました。その本質は何か、そもそも両利き経営は可能なのか、について議論します。

6・8 | ±
14:00-17:00

恐れのない組織-心理的安全性

参考図書『恐れのない組織—「心理的安全性」が学習・イノベーション・成長をもたらす』エイミー・C・エドモンドソン、村瀬俊朗 他(英知出版2021年)

心理的安全性は、「組織の中で自分の考えや気持ちを誰に対しても安心して発言できる状態」を意味し、チームの生産性を高めるとされています。心理的安全性と信頼はどこが異なるのか、心理的安全性がパフォーマンスを高め、イノベーションや成長をもたらすのは本当なのかについて、議論します。

7・27 | ±
14:00-17:00

ダイナミック・ケイパビリティ論

参考図書『ダイナミック・ケイパビリティ論』菊澤研宗(出版予定)

ダイナミック・ケイパビリティは、「変化対応的な自己変革能力」「環境の変化に対応して既存の資産、資源、知識などを再構成し、相互に組み合わせる持続的な競争優位をつくり上げる能力」として関心が寄せられています。ダイナミック・ケイパビリティによって、イノベーションのジレンマや両利き経営のジレンマを克服できるのか、みなさんと議論したいと思います。

講座の進め方

講師による講義と、事前課題の共有・ディスカッションを中心に進めます。事前課題は各回の設問にしたがってご自分なりに考えをまとめてみてください。講師からのフィードバックやクラスディスカッションによって、より考えを深めます。

各回の参考図書は事前に読む必要はありません。講座終了後、ご関心に合わせ手に取って、理解を深めていただければと思います。

開催概要

日程	2024年5/11、5/25、6/8、6/22、7/13、7/27 (すべて土曜日)
開催形態	ハイブリッド(丸の内キャンパス・オンライン)
回数	6回
時間	14:00-17:00(3時間)
定員	25名
会場	慶應丸の内シティキャンパス／オンライン
参加費	110,000円(税込)
おすすめしたい方	・最先端の経営学の理論やトレンドに関心のある方 ・イノベーションについて深く思索し、議論したい方 ・これからの企業・組織のあり方を考えたい方
詳細・申込み	

講師プロフィール

菊澤 研宗(きくざわ けんしゅう)

1986年慶應義塾大学大学院商学研究科博士課程修了。防衛大学校教授、中央大学大学院国際会計研究科教授を経て2023年3月まで慶應義塾大学商学部教授。その間、ニューヨーク大学スターン経営大学院客員研究員(1年間)、カリフォルニア大学バークレー校客員研究員(2年間)として在外研究に従事。専門領域は経営学、組織の経済学、比較コーポレート・ガバナンス論、ダイナミック・ケイパビリティ論。

主な著書

- 『命令の不条理-逆らう部下が組織を伸ばす』(中公文庫)
- 『指導者(リーダー)の不条理 組織に潜む「黒い空気」の正体』(PHP新書)
- 『戦略の不条理 変化の時代を生き抜くために』(中公文庫)
- 『成功する日本企業には「共通の本質」がある 「ダイナミック・ケイパビリティ」の経営学』(朝日新聞出版)
- 『ダイナミック・ケイパビリティの戦略経営論』(中央経済社)
- 『改革の不条理』(朝日文庫)
- 『組織の不条理-日本軍の失敗に学ぶ』(中公文庫)
- 『ビジネススクールでは教えてくれないドラッカー』(祥伝社新書)
- 『戦略の不条理』(光文社新書)
- 『組織は合理的に失敗する』(日経ビジネス文庫)
- 『戦略学』(ダイヤモンド社)
- 『組織の不条理 - 日本軍の失敗に学ぶ』(中公文庫)

本講座は【ハイブリッド】形態で開催いたします。お申し込みにあたっては下記をご確認下さい。



丸の内キャンパス

どちらも参加可能



オンライン

ハイブリッド開催

- ・丸の内キャンパスとオンラインのいずれでも参加可能です。
- ・参加方法は毎回選択していただけます。ご希望は開催前にお伺いします。

オンライン参加方法

- ・オンライン会議システム Zoom を使って配信します。パソコン (またはスマートフォン、タブレット) およびインターネット環境があれば、どこからでもご参加いただけます。
- ・Zoom を初めてご利用の方には操作方法をサポートいたします。

お問い合わせ

東京都千代田区丸の内2-5-2 三菱ビル10階 株式会社慶應学術事業会
TEL:03-5220-3111 info@keiomcc.com

